

平成25年度 事業報告書

平成25年4月1日～平成26年3月31日



公益財団法人 草津市コミュニティ事業団



目 次

事業報告要旨	3～5
I. 法人の概況	6～9
II. 事業の状況	
☐ 1. コミュニティ振興事業	10～16
☐ 2. まちづくり機器	17
☐ 3. 草津コミュニティ支援センター	17～18
☐ 4. 集り処 縁	18～19
☐ 5. まちづくりセンター事業	19～22
☐ 6. 市民活動支援（助成金等）	23
☐ 7. なごみの郷	24～25
☐ 8. 長寿の郷ロクハ荘	25～26
☐ 9. 高齢者コミュニティ	26
☐ 10. ロクハ公園	27
☐ 11. 自然ふれあい事業（カブトムシの家）	28
☐ 12. 児童公園等	28～29
☐ 13. 環境・学習	29
☐ 14. アミカホール	30～31
☐ 15. 文化・芸術	31
☑ 16. 公共施設管理	32～33
☑ 17. 収益活動	34
III. 重要な契約に関する事項	35

注記 この事業報告書は「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律」第21条第2項四および同施行規則第28条第2項に基づき、行政庁へ提出するとともに備置き及び閲覧に供する必要があることから、公益認定申請書に準じて作成しております。このため当該年度事業計画書および中間期事業報告書と事業名および記載順序等に若干の変更があります。

本文表記中□は、当該事業の所管課（施設）

要 旨

平成25年度は、公益財団法人として3年目を迎え、更なる飛躍の年とするため、事業団のもつ施設・備品、人材・能力、資金・情報、ネットワーク等の資源を集中し、既存概念にとらわれないチャレンジ精神と柔軟性をもって、「事業団でないとできない」取り組みを、「オール事業団」で展開いたしました。

また、事業団の最重要目的である「コミュニティの健全な発展と協働のまちづくりの推進」を進めるため、地域、企業、行政、関係機関など様々な組織や人材等のステークホルダーとのネットワーク化を図りながら、草津市協働のまちづくり条例による将来の中間支援組織としての役割を果たすべく事業の推進に努めました。

併せて、事業のマネジメントとして PDCA サイクルによる事業評価を内部で行い、効率的かつ効果的な事業運営に努めました。

以下、このような基本方針に基づき事業計画に記載した下記7点の【重点事項】の順に、活動の概況を報告します。

① 事業団のファンづくり

- ・まちづくりセンター事業では、運営協議会の事務局を担い、センター情報誌の作成発行や登録団体の研修や交流、ふらっとサロン活用事業などの各種事業を行いました。
- ・「パワフル交流・市民の日（市民ふれあい秋まつり）」を11/16（土）に草津市役所において約1,800人の参加者を集め開催しました。
- ・なごみの郷、長寿の郷ロクハ荘ならびにロクハ公園およびアミカホールでは、様々な世代の利用者が安心して何度も利用いただける施設管理と各種交流活動・事業を行いました。
- ・事業団管理サイトのカスタマイズや事業団ファンクラブ「まち活マッチの会」を立ち上げました。

② まちづくり振興部門の充実と組織改編

- ・「まちづくり振興課」が中心となり、まちづくりに関する情報の収集および発信機能として、ホームページ「くさつ情報ネット」の運営や情報誌「コミュニティくさつ」を年6回のべ33,000部作成し発行しました。また情報誌は、市まちづくり協働課の協力を得て、今年度から町内会回覧を開始しました。
- ・市民活動支援助成金事業として、「ひとまちキラリまちづくり活動助成事業」を行い、市民活動団体に対し財政的・技術的な支援を行いました。
- ・まちづくり振興部門を充実させることで市まちづくり協働課より移管を受けた「協

働提案事業報告会の開催」「市民協働円卓会議の事務局サポート」「協働マッチメイキング」の3事業を実施しました。このことで市民公益活動団体はもとより、行政側における協働推進の中間支援を一部担うことができました。

・まちづくり機器貸出事業をまちづくり振興課からまちづくりセンターへ業務移管を行いました。このことで、まちづくり機器の土日祝日の貸出・返却や受付申込が可能となり、利用者の利便性の向上につながりました。

③ 中間支援力の向上と職員のスキルアップ

・まちづくり相談窓口を設置し協働コーディネーターと連携し、年間約100件程度のまちづくり相談対応を行いました。市民活動団体等が日頃の活動の中で抱える悩みや疑問に答えることで、職員の技能向上も図ることができました。

・「人と街の未来をつくるカレッジ」や「コミュニティ・ビジネス講座」を通して、地域課題を解決に導くための手法の取得や人材発掘・育成の支援を行いました。

・「人と街の未来をつくるカレッジ」（1期・2期）にて実施してきたワーク（体験型学習機会）手法をワークブックとしてまとめました。（販売は平成26年6月から）今後はこのワークブックを用いながら、市内の学区まちづくり協議会などの場面でワークショップの実施など、事業団と地域をつなぐツールとして有効に活用していく予定です。

・協働のまちづくり条例において、同じく中間支援組織に指定される予定の社会福祉協議会と中間支援の更なる理解と相互連携また役割分担を行うための合同研修会を3回実施しました。また職員個々の中間支援能力と知識を培うため、数名の職員が准認定ファンドレイザーの資格を取得しました。

④ 事業団改革とチャレンジ

・一般職員全員が構成員となったプロジェクトチームが策定した「事業団改革アクションプラン2013～「自律と共生」へ～」に基づく事業団改革の取り組みに着手しました。

・平成24年9月に策定した「情報戦略プラン」による関連情報誌の複合化やホームページのリニューアル等、また各種イントラネットの整備と活用に努めました。

⑤ 市や関連組織とのネットワーク・連携強化

・社会福祉協議会との連携と相互理解を促すため職員の人事交流を実施しました。昨年度に引き続きホームページ「レンタルネット☆くさつ」による連携と、市民ふれあい秋まつりにおける催しの合同開催を実施し、人事・事業・イベントにおける連携を図りました。学（地）区まちづくり協議会との関係では、各まち協のホームページの作成サポートを行うとともに、渋川学区におけるフィールドワークを実施

するなど、積極的な連携を図りました。

⑥ 特定資産の有効活用と財源のバランス化

・市民公益寄付金制度を活用し寄付金を集め、自主事業の財源の一部としました。
(90件、約961千円)なお、特定資産の取扱いについては、市と共通の認識に
立った運用を図っていく必要があるため、平成26年度においても引き続き協議を
行っています。

⑦ 戦略的な指定管理の提案

・まちづくり活動の拠点施設であるとともに本部機能を持つまちづくりセンターに
ついては、平成26年度から29年度の4年間を指定管理期間として、また社会教
育および文化事業を展開する拠点施設である草津アミカホールについては、平成2
6年度から28年度の3年間を指定管理期間として、施設の設置目的や専門性等の
観点から非公募にて引き続き指定管理者としての指定を受けました。

I. 法人の概況

1 設立年月日

昭和59年5月1日 設立許可、昭和59年5月22日 設立登記
平成23年4月1日 財団法人草津市コミュニティ事業団から公益財団法人へ
移行登記。

2 定款に定める目的

コミュニティの健全な発展と協働のまちづくりに関する各種事業を展開することにより、豊かで希望に満ちた市民社会の創造に寄与する。

3 定款に定める事業内容

- (1) コミュニティ振興及びまちづくりに関する事業
- (2) 高齢者福祉及び多世代交流に関する事業
- (3) 環境及び公園緑地等に関する事業
- (4) 社会教育及び文化・スポーツに関する事業
- (5) 公共施設の管理運営及び関連事業
- (6) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

これらの事業は草津市及び周辺地域において行うものとする。

4 行政庁に関する事項

滋賀県知事

5 主たる事務所

滋賀県草津市西大路町9番6号 草津市立まちづくりセンター2階

6 役員等に関する事項

6-(1) 役員名簿

平成26年3月31日現在・順不同

評議員	橋川 渉	非常勤	草津市長
評議員	中島一廣	非常勤	草津市議会議長
評議員	恩地 美和	非常勤	NPO 代表
評議員	川瀬 善行	非常勤	草津市自治連合会 代表
評議員	小沢 道紀	非常勤	立命館大学准教授
理事長	清水 和廣	非常勤	草津市社会福祉協議会 会長
常務理事	中北 光一	常勤	専任
理事	山元 宏和	非常勤	草津市まちづくり協働部長
理事	松村 幸子	非常勤	草津市自治連合会 代表
理事	宮下 千代美	非常勤	NPO 法人 理事
理事	桑名 恵	非常勤	立命館大学准教授
理事	今川 晃	非常勤	同志社大学政策学部長
監事	谷 正登	非常勤	税理士
監事	堀 裕子	非常勤	行政書士

6-(2) 異動状況

4月 1日	理事	就任	中北光一
6月27日	理事長	退任	清水和廣
6月27日	理事	退任	筒井光雄
6月27日	理事	退任	山口洋典
6月27日	理事	退任	中北光一
6月27日	理事	退任	山元宏和
6月27日	理事	退任	松村幸子
6月27日	理事	退任	宮下千代美
6月28日	理事長	就任	清水和廣
6月28日	理事	就任	中北光一
6月28日	理事	就任	山元宏和
6月28日	理事	就任	松村幸子
6月28日	理事	就任	宮下千代美
6月28日	理事	就任	桑名恵
6月28日	理事	就任	今川晃
10月 2日	評議員	退任	奥村恭弘
10月31日	評議員	就任	中島一廣

3月31日 理事 退任 中北光一

3月31日 理事 退任 山元宏和

7 評議員会・理事会等開催状況

- (1) 6月3日 平成24年度決算監査 (草津市立まちづくりセンター205 会議室)
- (2) 6月7日 第1回理事会 (草津市立まちづくりセンター202 会議室)
- 議第 1号 平成24年度事業報告
 - 議第 2号 平成24年度決算報告
 - 議第 3号 特定資産の取り崩しについて
 - 議第 4号 平成25年度第1次補正予算案
 - 議第 5号 平成25年度事業計画における追加について
 - 議第 6号 評議員会の開催について
- その他
- ・公益認定等委員会からの「改善を求める事項」について
 - ・まちづくりセンター及びアミカホールの指定管理の提案について
 - ・集り処縁の運営について
- (3) 6月27日 第1回評議員会 (草津市立まちづくりセンター202 会議室)
- 議第 1号 平成24年度決算報告等について
 - 議第 2号 任期満了に伴う理事の選任について
- その他
- ・集り処縁の運営について
- (4) 6月28日 第2回理事会 (草津市立まちづくりセンター 202 会議室)
- 議第 7号 理事長及び常務理事の選定について
 - 議第 8号 平成25年度第2次補正予算案
- (5) 11月19日 第3回理事会 (草津市立まちづくりセンター 202 会議室)
- 議第 9号 平成25年度第3次補正予算案
 - 議第10号 事業団改革アクションプラン等の報告について
- その他
- ・ホームページの再構築の経過報告
- (6) 12月16日 平成25年度中間監査 (草津市立まちづくりセンター 205 会議室)
- (7) 3月20日 第4回理事会 (草津市立まちづくりセンター 202 会議室)
- 議第11号 平成26年度 事業計画
 - 議第12号 平成26年度 予算案
 - 議第13号 事業団改革アクションプランについて
- その他
- ・事業団管理サイトのカスタマイズについて
- (8) 3月27日 評議員会 (書面表決)
- 議第 3号 理事の選任について

(9) 3月31日 評議員会（書面表決）

議第 4号 評議員および理事、監事に対する報酬等の支給基準
規程の一部改正について

8 職員に関する事項

平成26年3月31日現在

所 属	市 派 遣 職 員	一 般 職 員	契 約 職 員	常 勤	契 約 職 員	非 常 勤	ア ル バ イ ト	計 （ 人）
役員（事務局長含む）	2							2
企画総務課	1	3	4				3	11
まちづくり振興課	1	3	2		1			7
まちづくりセンター		1	4		2		2	9
なごみの郷		1	4		3			8
長寿の郷ロクハ荘			6				4	10
草津市公園事務所		1	5		1		5	12
草津アマカホール			5					5
合同会社出向		1	1		1			3
計（人）	4	10	31		8		14	67

上記表には社会福祉協議会との人事交流1名は含み、理事長（非常勤）1名は含まれていません

9 その他の事項

○指定管理者への提案

「草津市立まちづくりセンター」における平成26～29年度（4年間）の指定管理者募集および「草津市立草津アマカホール」における平成26～28年度（3年間）の指定管理者募集に対し提案を行いました。

10月 1日 指定管理者選定委員会
10月25日 選定結果通知（結果：指定管理者の候補者に指定）
12月25日 指定管理者に指定

II. 事業の状況

【公益目的事業】

コミュニティ振興・まちづくり

(人が光る、まちがキラリと輝く)

1. コミュニティ振興事業

1-(1) 人と街の未来をつくるカレッジ ① まちづくり振興課

まちづくり協議会をはじめとする地域の自治組織などの人材育成を目的として、まちの見方や課題解決のための協働事業の進め方などを学ぶ「人と街の未来をつくるカレッジ」(第3期)を本年度も同志社大学(今川ゼミ)と連携しながら実施しました。

また、1～2期の中で実施した多様なワークショッププログラムを取りまとめ、これからの地域における事業の企画などに活用いただくようワークブックとして発行しました。

【まちのたから探し～あなたの好きを探しにいこう～】

主な対象者：市民、各種団体等 参加者延べ 24名

① 10月5日(土)

座学「そろそろ、この街の話をしようじゃないか」

今川 晃 氏(同志社大学政策学部長)

WS「街は宝であふれている」

奥野 修 氏(龍谷大学社会学部 非常勤講師(居住福祉論))

② 10月19日(土)

FW「ミナクサWALK」

奥野 修 氏(龍谷大学社会学部 非常勤講師(居住福祉論))



③ 11月 9日 (土)

WS「みんなのたからものMAPをつくろう」

奥野 修 氏 (龍谷大学社会学部 非常勤講師 (居住福祉論))

1-(2) コミュニティ・ビジネス講座 新 まちづくり振興課

市民公益活動や地域活動の展開の基盤となる資金調達手法の選択肢を広げ、持続可能な活動への転換を図るため、資金の確保やちょっとしたビジネス手法を取り入れるノウハウなどを提供するコミュニティ・ビジネス講座を市と連携して実施しました。

① 7月30日 (火)

入門編 (コミュニティ・ビジネスのいろは) (担当: コミュニティ事業団)

「あなたと地域を元気にするコミュニティ・ビジネス実践ノウハウ」

鵜飼 修 氏 (滋賀県立大学 全学共通教育推進機構 准教授)

主な対象者: 市民、企業、各種団体等

参加者 : 150名

主 催 : 草津市・コミュニティ事業団



② 8月19日 (月)

まちづくり・福祉の視点 (担当: 社会福祉課)

「感動と感謝の地域づくり～やる気を起こせば必ず奇跡は起きる～」

豊重 哲郎 氏 (やねだん 鹿児島県柳谷自治公民館長)

主な対象者: 福祉関係団体等、福祉分野に興味のある方

(各学区地区社協、民生委員児童委員、ボランティア、福祉委員等)

参加者 : 160名

主 催 : 草津市・コミュニティ事業団

③ 8月30日 (金)

産業の視点・企業向け (担当: 産業労政課)

「事業・活動に活かす! コミュニティ・ビジネスのノウハウ」

鵜飼 修 氏 (滋賀県立大学 全学共通教育推進機構 准教授)

主な対象者: 企業

参加者 : 100名

主 催 : 草津市

協 力 : コミュニティ事業団

*市環境課主催「草津エコフォーラム 2013」と同時開催

④2月7日（金）

まちづくり・福祉の視点（担当：社会福祉課）

「シルバーパワーで助け合い～高齢者の生活支援ビジネス～」

三和 清明 氏（NPO法人 寝屋川あいの会 理事長）

主な対象者：福祉関係団体等、福祉分野に興味のある方

（各学区地区社協、民生委員児童委員、ボランティア、福祉委員等）

参加者：60名

主催：草津市・コミュニティ事業団

《関連事業》

8月21日（水） 職員研修（担当：産業労政課）

「コミュニティ・ビジネス促進における行政職員の役割」

鵜飼 修 氏（滋賀県立大学 全学共通教育推進機構 准教授）

主な対象者：市役所職員、事業団職員・社会福祉協議会職員

参加者：61名

11月22日（金） 視察研修（担当：コミュニティ事業団）

「愛・福祉・エコを感じる コミュニティ・ビジネス先進地へ行こう！」

視察先：あいとうふくしモール、愛のまちエコ倶楽部

主な対象者：市民、福祉・まちづくり・産業各関係者、
市役所職員、事業団職員・社協職員

参加者：24名

主催：コミュニティ事業団



1-(3) 地域ポータルサイト「くさつ情報ネット」の運営



まちづくり振興課

昨年度に統合した地域ポータルサイト「くさつ情報ネット」の情報充実に向けて、ブログや facebook を活用し、事業団の取り組みを積極的に紹介しました。

また、市民活動やまちづくりをはじめ、草津宿本陣などの商業観光や福祉、イベント情報、行政情報など草津の多様な情報の入口となる地域ポータルサイトとして、より一層のセキュリティ強化とアクセシビリティ（利用のしやすさなど）に配慮したサイトとなるようリニューアルを行っています。

1-(4) 事業団オフィシャルサイトの運営 ④ **企画総務課**

事業団の概要説明や施設紹介を行う事業団オフィシャルサイトのさらなる充実に向けて、地域ポータルサイトのリニューアルに併せてカスタマイズを行うよう準備を進めました。

1-(5) まちづくり協議会HP運営サポート **まちづくり振興課**

各学（地）区まちづくり協議会の情報発信のツールとして活用すべく、昨年度、当事業団で作成し立ち上げたまちづくり協議会HPをより効果的に活用してもらえるよう、利用方法の講習会を開催するとともに、サイトのメンテナンスなどの運営サポートを適宜行いました。

また、サイトのさらなる充実にむけて、より一層のセキュリティ強化とアクセシビリティ（利用のしやすさなど）に配慮したサイトとなるようリニューアルいたしました。

5月31日（金） 更新のための基礎講習会

8月29日（木） フォローアップ講習会

1-(6) まちづくり情報誌「コミュニティくさつ」の作成発行 ④ **まちづくり振興課**

市民がつくるまちづくり情報誌として発行してきた「コミュニティくさつ」の充実に向けて、事業団情報や各施設において公益活動に取り組む市民活動などの情報を統合して発行しました。8月号からは、更にまちづくりセンター運営協議会が発行する情報紙も統合して複合型情報紙としてリニューアル発行しました。

また、これらの情報誌をより多くの市民の方に見ていただけるよう、市の協力を得て町内会回覧としました。（発行部数 各号5,500部）

- 6月号 「コミュニティ事業団のポケットの中のぞいてみよう」(事業団紹介特集号)
- 8月号 「夏を楽しむ～暑さを私の味方に～」
- 10月号 「住みよいまち草津!?～地域で育む子どもの未来～」
- 12月号 「知らないと損!～みんなが集まる場所で楽しむコツ～」
- 2月号 「草津で見つけた遊び心・私の遊び心」
- 号外 「30周年記念事業・各施設紹介」

1-(7) コミュニティFMでの情報発信 企画総務課 まちづくり振興課

コミュニティFM（えふえむ草津）を積極的に活用して、NPO法人や市民公益活動団体、事業団が行う事業の周知やPRなどを行いました。

また、事業団のCMもリニューアルして、番組の合間に適時流しました。 〈添付資料 P7-10〉



- ・コミュニティタイム 月6回（30分番組）
- ・CM 適時

1-(8) パワフル交流・市民の日（市民ふれあい秋まつり） ㊤ まちづくり振興課



市民活動団体と市民との交流機会を提供しながら、市民のまちづくりに対する関心と理解を深めるとともに、市民活動団体や大学、行政が参画する実行委員会形式による運営を行い、事業団が事務局を担いました。

また、立命館大学サービスラーニングセンターが開講する「シチズンシップ・スタディーズⅠ*」として5名の学生を受け入れるとともに、草津市市民まちづくり提案事業報告会を同時開催いたしました。

11月16日（土） 草津市役所他 参加者 1,800人

事前打ち合わせ会 7月18日（金）

実行委員会 8月5日（月）～11月21日（木）5回

参加者説明会 10月2日（水）

1-(9) くさつ子どもフェスタ2014 まちづくり振興課

次世代を担う子どもたちの草津に対する故郷意識を育むとともに、家族や大人とのふれあいを通じてのコミュニティの健全育成を目的として、1月の第3日曜日（ふれあいサンデー）に「くさつ子どもフェスタ2014」を実施しました。

子どもに関わる市民公益活動団体や各種団体、また市民ボランティアによる実行委員会にて企画運営を行い、イベント当日は大雪に見舞われましたが、多くの子どもたちには家族と楽しい時間を過ごしてもらえました。

* シチズンシップ・スタディーズⅠ

学生が、ボランティア活動を通じて地域に貢献しつつ、地域社会の一員として自覚と能力を育み、専門知識の応用的な理解を深めるため実施する授業の一環

- 1月19日（日） 市民体育館（*当日、積雪のため野外中止）
 参加者：約998名
 実行委員会：12団体22人
 内容：もちつき、折り紙でかざぐるまなどの手作りコーナー、ギネスに挑戦
 昔あそび、三線（さんしん）など体験コーナー、ステージ発表 他

1-(10) 各種団体との協働事業 まちづくり振興課 企画総務課 他

他の団体や組織等が行う事業などにおいて、事業団の趣旨に合うものを選択しながら後援、共催等の名義使用や事業参加、職員派遣等を行いました。

①新入学児童記念撮影事業協力（職員派遣）

4月9日（火） 渋川小学校

②草津納涼まつり実行委員会参画

5月21日、8月2日、8月20日（納涼まつり事故防止会議）
 実施日 8月23日（金）

③大路区民まつりイベント部会参画

6月12日、7月5日、7月22日、8月9日
 実施日 10月27日（日） 当日ブース出展
 参加約 8,000人



④第2回草津市社会福祉協議会ボランティアフェスティバル参画

9月7日（土）当日ブース出展 参加約550人

⑤滋賀県中間支援センター意見交換会参画

第1回 6月5日（水）
 第2回 8月28日（水）（先進地視察研修（大阪ボランティア協会））

⑥災害支援市民ネットワークしが運営委員会&研究会参画

設立総会 4月17日（水）
 研究会 6月27日、9月10日、2月18日

⑦その他

- ・ 渋川生き物絵図作成支援委員会参画
- ・ 渋川風景の記憶絵贈呈式 5月19日(日)
- ・ 矢倉学区未来のまち協議会総会 協働コーディネーター講演 5月19日(日)

1-(11) 市民公益寄付金制度 企画総務課 他

まちづくり活動への寄付として、㈱ライフコーポレーション様の15万円をはじめ他33件を含め、合計961,302円の寄付をいただきました。

「市民が市民を支えるしくみ」の構築を目指し、今年度新たに清涼飲料水に加えてアイスクリームの寄付金付き自動販売機の設置を行いました。

1-(12) 協働事業創出サロン(懇話会)の開催 新 まちづくり振興課

草津市と連携可能な協働事業を創出するため、対等な立場で特定のテーマに関しての情報交換や地域の課題について意見交換を行い、それぞれに対する理解を深める協働創出サロンを実施しました。

テーマ : 草津ブランドの創出
テーマ提供 : 草津市農林水産課
開催日時 : 平成26年3月14日(金) 14時00分～15時50分
開催場所 : 草津市立まちづくりセンター ふらっとサロン
参加団体等 : 市民公益活動団体 4団体
草津市農林水産課 草津市まちづくり協働課

1-(13) 市民協働円卓会議運営サポート事業 新 まちづくり振興課

草津のまちづくりや協働について語り合う「市民協働円卓会議」の運営をサポートし、報告書をまとめ3月に草津市長に提案しました。

6月25日、8月6日、9月19日、10月29日、2月26日
プロジェクト

- ①まめバスに乗って歩いて学ぼうツアー
- ②みなくさコミュニティマッププロジェクト
ー異文化・異世代・異空間を楽しもう！ー
- ③くさつダレマチプロジェクト
親子で学ぼう！体験しよう！防災フェスタ in 草津

2. まちづくり機器

まちづくりセンター

〈添付資料 P2〉

まちづくり協議会や町内会、NPOやボランティア団体、社会教育団体、福祉関係団体など地域コミュニティや市民活動において、非営利団体がコミュニティの促進や団体のPRのために実施するイベントなどにおいて必要となる各種まちづくり機器の貸出しを実施しました。本年度より



冬季期間（12月～3月まで）の利用促進を図るため、冬季料金（もちつきセットを除き半額）を設定しました。

また、昨年度、草津市社会福祉協議会と連携して立ち上げたHP「レンタルねっと☆くさつ」に草津市にて所有する貸出可能な備品（スポーツ保健課のニュースポーツ用品、環境課の環境学習用品、危機管理課の防災・防犯ビデオ、人権センターの人権啓発DVD・書籍）の情報を掲載しました。

【まちづくり機器展示実演会】

6月8日（土） まちづくりセンター（2階ロビー・調理室他）

参加 150人（昨年度132人）

3. 草津コミュニティ支援センター

まちづくりセンター

まちづくりセンターの新たな指定管理が始まる平成26年度から、機能と役割を明確にすみ分けていくことを基本に、開かれた施設利用のための調整・合意形成を図るとともに、センター運営会の自主管理による運営管理をサポートしました。

3-(1) 運営管理サポート

建物の良好な維持管理および利用者の安全確保に向けてセンター運営会のサポートに努めるとともに、市民公益活動の中間支援といったセンターの機能を高め、開かれた施設利用を促し、まちづくりセンターとの連携を強化するため、同センター運営会、事業団による二者会議を行い、情報共有と協議を行いました。

【二者会議】 2回

- ・利用者の安全性を確保するための鍵の管理の見直し
- ・センターの会計の透明性

- ・まちづくりセンターに準拠した登録基準の見直し
- 【支援センターありかた検討会】 3回

センターの安全な管理に努め、既存の団体はもとより、新たに公益活動を行う市民や団体の支援を行うとともに、次年度以降の運営方針についての検討会を開催しました。

3-(2) 市民活動情報・イベント情報の発信

市民活動団体が行う事業やイベント情報の発信を目的に、センター運営会が市との協働事業として実施する情報誌「いいことないかな でんごんぼん」の発行について運営および周知活動などのサポートを行いました。

3-(3) まちづくりセンターとの連携事業の実施

〈添付資料 P3, 4〉

まちづくりセンター運営協議会との連携や交流を図るとともに、センター運営会として、市民公益活動の展開を目指し貸館および事業を実施しました。

4. 集り処 縁 (ゆかり)

まちづくり振興課

〈添付資料 P5, 6〉

市民が気軽に集う交流の場、また市民活動や地域活動、ボランティア、社会教育活動の発表の場として、まちなかふれあい交流施設「集り処 縁 (ゆかり)」を運営管理するとともに、自主企画を行いました。

また、集り処 縁を8月28日で閉館したことに伴い、交流施設としての一部機能については、9月から(特活)草津市心身障害児者連絡協議会が開設された草津市障害者活動支援センター「出会いのひろば」に引き継ぎました。

なお、「コミュニティ型カルチャースクール まちの先生」については、集り処縁の閉館などに伴い実施はいたしておりません。

貸館事業：壁面展示 5件 / 講座・催し等 35件
 自主企画：壁面展示 8件 / 講座・催し等 8件



4-(1) フリーアート市の開催

「地域のにぎわい」創出を目的に、宿場まつり当日、趣味でモノづくりを始めた人からプロの作家や職人の手づくり作品を展示し、市民に触れる場を提供しました。

開催日 4月28日(日)

出展者・団体数：9団体

4-(3) 草津市生涯学習ガイドブック「誘・遊・友」の作成発行 新 受託

市生涯学習課より生涯学習ガイドブック「誘・遊・友」の作成業務を受託し、市および市民センターやコミュニティ事業団が管理運営する公共施設などで実施される教育的な講座・イベントなどの情報を収集し、発信しました。市民が手に取りやすいよう、サイズの変更や、更新版では、ピクトグラムを採用やおすすめ講座の掲載など、さらに見やすくわかりやすい内容に変更しました。また、情報をコミュニティ事業団のホームページに掲載し、市民に情報が届きやすいよう工夫しました。

この業務を通じて、市内で実施される講座・イベント等の情報を可能な限りコミュニティ事業団に一元化することができました。



5. まちづくりセンター事業

市民が主体的に行う社会的、公益的なまちづくり活動を推進する事業を積極的に展開するように努めるとともに、中間支援の役割についても、市や草津市社会福祉協議会など他の中間支援組織との連携を深め、さらなる「協働のまちづくり」の推進に努めました。

5-(1) まちづくりセンター運営協議会事務局業務 拡 まちづくりセンター

まちづくりセンター運営協議会の事務局運営

まちづくりセンターの利用者（登録団体）、施設設置者（草津市）、指定管理者（事業団）で構成されているセンター運営協議会の事務局を担い、登録団体の研修と交流、施設の利便性の向上に努めました。

【運営協議会開催状況】

- ・全体会 6回、施設部会 6回、研修部会 6回、情報部会 16回
- 11周年イベント実行委員会 8回

【実施事業】

①ふらっとサロン活用事業（施設部会）

- ・夏の星座学習会 6月29日（土） 参加者 86人
立命館大学草津天文研究会
- ・笑いで健康を呼ぶ落語会 12月 1日（日） 参加者 47名
立命館大学落語研究会

②「国際文化交流会」外国人から見た日本・草津のまち（施設部会）

2月8日（土） 参加者 36名

③まちセンいろは講座「びわ湖の生態系 変えたのは誰？」（研修部会）

9月11日（水） 参加者 22名

講話：堀池知祥氏（滋賀県琵琶湖環境部 自然環境保全課 野生生物担当）
中島正人氏（草津市市民環境部 環境課 環境管理グループ）

④視察研修 阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター訪問

11月26日（火） 参加者 22名

⑤センター情報誌の作成発行（情報部会）

まちづくりセンターの情報の共有と市民への周知を目的に、「コミュニティくさつ」内のコーナーとして、「みんなとめんめん」を発行しました。

5回発行（1回目のみ、単独で発行）

⑥11周年イベント 3月8日（土）

「まちセン今昔物語」「団体紹介ポスター」作成

他に参加団体活動発表、みんなで歌おうコーナーなど

参加団体 39団体 参加者 158名



⑦組織をもっと強くする実務講座

〈添付資料 P3〉

まちづくり協議会やNPOなど、各種まちづくり団体の組織基盤整備や事業運営に必要な情報発信や会計事務、広報活動など組織マネジメントにかかる講座を実施しました。実施にあたっては、市民公益活動助成金事業の募集時期に合わせて開催しました。

5-(2) まちづくり相談窓口および協働コーディネーター配置

まちづくり振興課

市民活動や地域協働など、まちづくり活動への入口から専門的な相談まで、市民や団体が気軽に相談できる相談窓口をまちづくりセンターに設けました。

特に、法人の設立やまちづくり協議会の運営など専門性を有する相談については協働コーディネーターが職員とともに相談を受ける体制を整え、職員のスキルアップも図りました。

また、協働コーディネーターはまちづくり相談対応のほか、次の活動を行いました。

【協働コーディネーターの主な業務】

- ・まちづくり協議会への計画づくりや事業推進のアドバイス
- ・地域活動や市民活動、ボランティア活動に関する相談
- ・市民活動団体調査と分析に協力
- ・まちづくりセンターおよび各施設における中間支援機能強化のための事業企画およびアドバイス など

5-(3) 市民活動団体・企業地域貢献活動調査「虫めがね」 まちづくり振興課

市民活動団体やボランティアグループ・NPOなどが現在抱える課題や悩みなど、等身大の姿を知るためアンケートおよびヒアリングを通して調査を実施しました。

アンケートについては、まちづくりセンター・草津コミュニティ支援センターの登録団体、前年度つながりのめ掲載団体、草津市ボランティアセンター登録団体（草津市社会福祉協議会）ならびに草津市社会教育関係団体（草津市生涯学習課）を含め、491団体に送付した結果、323団体より回答をいただきました。

同志社大学（政策学部嘱託講師）及び協働コーディネーターの助言を得ながら分析を行い、明らかになった調査結果をもとに事業団を含む中間支援組織が行うべき支援のあり方を検討するとともに、その結果は次年度の「(仮)市民活動ハンドブック」にて掲載すべく、現在、編集を進めています。

なお、当該事業においては同志社大学からインターンシップの学生2名を8日間受け入れ、NPO法人4団体に対するヒアリングを実施しました。

5-(4) 市民活動団体情報「つながりのめ」 まちづくり振興課

市内で主に活動する市民活動団体などにアンケート調査（市民活動団体調査「虫めがね」と同時調査）を行い、その団体の基礎情報をホームページに掲載し、団体同士のネットワークの構築や市民活動へのきっかけづくりに努めました。

なお、今年度はホームページへの掲載のみにとどめ、冊子の発行については市制60周年および草津市協働のまちづくり条例が施行される平成26年度に発行する予定です。

【団体数】 272団体（前年度236団体）

【掲載ホームページ】 まちサポ <http://kusatsu.or.jp/support/>

5-(5) くさつ自悠時間倶楽部「おとなのクラブ活動」

まちづくり振興課

草津でいきいきと活動する市民や市民活動団体、企業の活動などを実際に体感する機会を草津の魅力と融合させながら提供する「おとなのクラブ活動」を実施しました。草津の魅力やすでに活動している人の生き方から、自分自身ができることを見つけ、まちに関わってもらうことで、市民公益活動へのきっかけづくりとして実施しました。



第1回（通算12回） 「ぶらっと歩けば、見えないものも見えてくる

くさつの魅力再発見！まち歩きのおすすめ」

9月20日（金）参加者10名 南草津駅周辺

話題提供 小森俊彦氏（草津青年会議所）

吉井 宏氏（リベリー南草津マンションオーナー）

田辺良一氏（新宮神社宮司）

ベンジャミン・スキナー氏

クツアロフォ雪絵氏

第2回（通算13回） 「～渋川のまちをあるきましょう！～」

（渋川学区まちづくり協議会・草津市景観課との共同開催）

11月10日（日）参加者 まち歩き10名／WS14名

話題提供 渋川学区まちづくり協議会

（地域安全コミュニティ部会）

5-(6) 組織をもっと強くする「キラリ☆まちづくり活動実務講座」

まちづくりセンター

まちづくり協議会やNPOなど、各種まちづくり団体の組織基盤整備や事業運営に必要な情報発信や会計事務、広報活動など組織マネジメントにかかる講座を実施しました。

実施にあたっては、ひとまちキラリまちづくり活動助成と連携した講座となるよう募集時期を合わせて開催しました。（再掲） 〈添付資料 P3〉

6. 市民活動支援（助成金等）

まちづくり振興課

ひとまちキラリまちづくり活動助成事業

市民による自主的で公益的なまちづくり活動の実現を通じて、創意工夫あふれる魅力的なまちづくりを推進することを目的に「ひとまちキラリまちづくり活動助成事業」を実施しました。6月には従前の制度による当該年度実施分の募集を行い、また12月には新たな制度による次年度実施分の募集を行いました。6月には3団体を12月には2団体を採択しました。

当助成金の財源については市民公益寄付金制度により市民の皆さんや企業等からいただいた善意ある寄付を一部活用しました。



【採択団体（6月）】3団体（1年目）

- ・子どもとおやじのふれあい 〈おやじの会〉
- ・郷土史「志那町のいまむかし発刊事業」 〈志那町史編纂委員会〉
- ・まちキラ寄席 〈エコノボイス 滋賀〉

【採択団体（12月）】2団体（26年度事業）

- ・老上で農業生活を楽しもう 〈老上西農業合校〉
- ・市の花「あおばな」の普及 〈湖南農業 あおばなで染める会〉

【継続助成団体】

- ・昨年度新規採択団体がなかったため、継続助成団体はありません。

【制度見直し後の助成枠】

- ・立ち上げ支援部門 従来通り、立ち上げ期のサポート
- ・連携協力部門 多様な主体と連携・協力することで、単独で事業を行うより高い効果が見込まれる事業

【実施要綱の改正】

・「市民公益寄付金」が財源の一部として活用されている旨を明記するとともに、企業や他のNPOなど多様な主体と連携、協力した部門を設けることで、すでに活動の基盤が確立しているような団体も支援できるように制度を改正しました。

- ・「立ち上げ支援部門」…従来通り、立ち上げ期のサポート
- ・「連携協力部門」……多様な主体と連携・協力することで、単独で事業を行うより効果が高いと思われる事業



高齢者福祉・多世代交流

(おもしろ楽しく おーい老い!)

7. なごみの郷

なごみの郷

〈添付資料 P11-16〉

指定管理者として、平成22年度から5年間の指定管理を受けて、本年は4年目となります。

当施設運営の原点である、多世代の利用者が安心して利用できる施設の運営管理に努めるとともに、当初の事業計画を遂行し、利用客のニーズに呼応できるように努めました。

特に、高齢者の健康増進と生きがいをづくりに結びつけた事業として、看護師による「健康相談」をはじめ「健康増進運動教室」や「健康料理教室」、多世代交流事業として「親子がふれあう講座」や「アールブリュット展」などを実施しました。

また、月2回の「ロビーコンサート」や「なごみ映画館」を開催し、参加者の交流と心身のリフレッシュを図りました。

7-(1) 高齢者生き生き増進事業

看護師による健康相談、健康増進運動講座（ゆったりヨガ等）、健康料理教室（男の料理教室、そば打ち体験）、介護予防講座、グラウンドゴルフ交流会などを実施しました。

7-(2) 心身の健全な育成、豊かな人間性を育てる事業

教養・趣味を高める陶芸・折り紙などの教室の実施や移動図書館の立ち寄りを実施しました。

7-(3) 地域とのかかわり事業

中学生の職場体験学習の受入れや市民センターとの提携（わんぱくプラザ、夏の学区事業の受入れ）、地域の高齢者事業のサポート（老人会、ほのぼののサークル）を実施しました。

7-(4) 多世代交流事業

親子がふれあう講座（親子陶芸教室・ベビーマッサージなど）、仲間づくり講座（草木染め教室など）、秋の交流会、アールブリュット展を実施しました。

7-(5) 周知活動

利用者向上のために、毎月の行事カレンダーを発行するとともに、月2回のロビーコンサートを実施しました。

また、玉川市民センターの協力をいただきながら、玉川学区への当施設のパンフレットなどの配布を行いました。

併せて、10サークルの同好会活動の育成・支援、ホームページを活用した事業PRを実施しました。

7-(6) その他

安心・安全な施設運営のため、温浴施設の衛生管理の徹底や無料巡回バスによる送迎の実施を行いました。

8. 長寿の郷ロクハ荘

ロクハ荘

〈添付資料 P17-22〉

指定管理者として、平成22年度から5年間の指定管理を受け、本年度は4年目となります。

利用者に満足して利用していただけるよう当初の事業計画に基づき着実に遂行しました。特に、9月より3か月の期間において旧館の耐震補強工事が実施されましたが、利用者の安全・安心を優先するとともに当館内外への周知および工事期間の特典、イベントに積極的に取組み、通常通りご利用していただけるように施設の管理運営に努めました。

また、高齢者の健康づくりや多世代交流のための講座やイベントの開催では、従来のイベントに付加価値をつけるなど内容の充実に努めるとともに、新規イベントなどの事業を展開しました。

8-(1) 高齢者の健康づくり、介護予防の推進

高齢者の健康づくりとして、健康相談や各種講座を実施しました。また、初めての試みとして「卓球大会」を実施し、好評を得ました。



8-(2) 多世代交流事業

多世代交流事業として、親子のトランポレックスサイズや親子シアターを実施しました。また、施設内に開設している子育て支援事業としての「くれよん」の事業展開に積極的に協力いたしました。

8-(3) 協働の役割

協働の役割として、同好会活動の支援を継続し、その発表の場として「ふれあいまつり」を開催しました。「ふれあいまつり」に際して、マスメディア等の媒体へ積極的にPRを図り、FMラジオ、TVへの出演や新聞に記事を掲載いただきました。

また、ロクハ公園との協働により、従来の内容を拡大させた「さくらまつり」やアウトドア事業として「ダッチ・オープン料理」や「初めての野菜作り講座」を開催しました。

8-(4) 周知活動

- ① 利用者向上対策として、月替わりのハーブ湯やしょうぶ湯を実施するとともに、ホームページの内容を充実しました。

また、各種イベントや講座のポスター・チラシを市民センターをはじめとして市内の公共施設および市議会議員にも配布するとともに、巡回バスの側面を利用して、ロクハ荘のアピールを行いました。

- ② 耐震補強工事期間中は、利用者の流出防止策として、来館・風呂利用・イベントの観覧や参加を対象にした「スタンプカード」を発行し、スタンプ押印により粗品を進呈しました。

9. 高齢者コミュニティ なごみの郷 ロクハ荘

指定管理事業に加え事業団の自主事業として、「高齢者の福祉および多世代交流事業」を実施し、利用者間の交流を図りました。

なごみの郷 なごみ映画館、ロビーコンサートなど

ロクハ荘 ミニ見にコンサート・お楽しみ演芸会・活動写真館など

環境・公園緑地等

(みんなの公園づくり事業)

10. ロクハ公園

公園事務所

〈添付資料 P24-31〉

ロクハ公園は、昭和63年4月のオープン以来17年間にわたり草津市から委託を受け、平成18年度からは指定管理者として運営しています。

今年度のプールの利用者は、プールサイドコンサートや和太鼓による演奏などの催しも行い、80,616人の入場者数となり、昨年同様に8万人を超えました。また夏場のプールだけでなく、自然豊かな公園施設の特徴を活かし自然環境に関する講座の開催なども積極的に展開しました。



特に公園施設維持管理状況としましては、4月初旬から公園内の各施設を点検し、整備および補修を順次実施しました。また、公園植栽維持管理状況としては、4月初旬から公園内を点検し、多目的広場、ジャブジャブ小川、野外ステージ、ディキャンプ場、川原池周囲の整備および草刈り、剪定などを順次実施しました。

また、9月15日に開催されました緑化フェア協賛事業として「ふれあい動物園」、「竹細工コーナー」、「寄せ植えコーナー」を行いました。

11. 自然ふれあい事業（カブトムシの家） 公園事務所 受託

〈添付資料 P23〉

自然ふれあい事業の一環として7月下旬から8月中旬までの間、ロクハ公園内に設置しているカブトムシ観察舎の運営を草津市から受託し、市民に無料開放しました。

【開催期間】 7月21日（日）～8月15日（木）（26日間）

【入場者数】 のべ3,242人（昨年3,804人）

また、アヒルやニワトリの飼育、「アヒルふれあい広場&川原池デビュー（放鳥式）」等を通し、子どもたちに動物とのふれあいの機会を提供しました。



12. 児童公園等 公園事務所 受託 〈添付資料 P39〉

市内児童公園などの維持管理については、巡回点検を行い、不良箇所・危険箇所の早期発見に努めるとともに市公園緑地課より依頼を受けた案件も迅速な補修・修繕の対応をしました。

また、地元自治会や市民による公園などの主体的な維持管理をサポートし、市民では困難な作業の依頼案件（修繕・刈草収集・樹木剪定・害虫駆除等）についても迅速に対応し、市民の立場に立って安心かつ安全で楽しく利用できる公園の維持に努めました。

込田公園、南草津駅東山道記念公園の清掃業務を主とした維持管理、および市内14箇所の児童公園など便所の清掃業務を行いました。

公園遊具施設管理システムの導入と専属の人員配置により、市内児童公園ごとの公園台帳を整備することで、設置されている遊具（施設）等の管理状況を正確に把握し、適宜修繕などを行うなど、適切な維持・管理に努めています。また、日々の修繕情報や新たに調査をしている情報（写真、地図、水道設備、電気設備、植栽関係など）も順次入力しながら、よりよい公園管理システムを構築しています。

① 児童公園等の維持管理状況

刈草回収、植栽管理、設備・遊具等の修繕の管理及び点検を実施するとともに、維持管理における市民からの913件の依頼に対処しました。前年に比して刈草処分が増加し、薬剤散布や看板設置が減少しました。

② 込田公園・南草津駅東山道記念公園の清掃、児童公園など便所清掃状況

込田公園は、便所を含む清掃業務を特定非営利活動法人すまいる、児童公園など便所清掃業務は社会福祉法人にぎやか会に業務をそれぞれに委託し、遂行しました。なお、南草津駅東山道記念公園の清掃業務は直接執行で対応しました。

また、地元自治会などが公園などを自主的に環境整備・清掃作業を実施するために必要な草刈機、運搬車などの貸出しをしています。順調に利用者が増えてきています。

13. 環境・学習

公園事務所

ロクハ公園の指定管理や児童公園受託事業に加え、自然豊かな立地条件を活かした環境学習の機会として、樹木草花ウォッチング、きのこ講座、星空ウォッチングを開催し、自然にふれあえる講座を実施するなど公園の新たな魅力の創出に努めました。また事業団の他施設との連携事業として、桜鑑賞会&お茶会、アウトドア料理、はじめての野菜づくり講座を開催しました。

また、公園サポーターの皆さんにロクハ公園や南草津駅前の東山道記念公園などでの剪定、除草、花の植替えなど緑の手入れを行っていただいています。加えてロクハ公園で実施する鳥や樹木、きのこの観察会などでは説明員となっていただくなど様々な場面で活躍いただいています。

さらには、南草津駅東山道記念公園での冬の魅力を創出していくためのイルミネーションによる装飾事業を実施しました。

このイルミネーション事業のPRのため8月23日に行われた「草津納涼まつり」のつくりものコンクールに出品参加しました。

そして、11月10日に草津市長はじめ来賓の方々による点灯式を挙行し、玉川高校ブラスバンド部によるコンサートが華を添えました。その後、12月22日のX'masコンサートを経て、翌年の1月13日まで延べ65日間点灯し、南草津の街を彩りました。



社会教育 文化・芸術

(文化芸術は「観る」から「創る」へ)

14. アミカホール

アミカホール

〈添付資料 P32-34〉

草津市の芸術、文化ならびに生涯学習の拠点としてアミカホールを運営し、事業については市民参加型を主とし、幅広い世代のニーズに応えることに努め未来を担う子どもたちの芸術創造の場として次世代育成に努めました。

また、独自のプログラムの開発に努めるとともに、ホームページや情報誌などによる情報提供・発信を行いました。

14-(1) 市民参加型事業

草津市民創作ミュージカル「月の涙～BIWA パール・ファンタジー～」をはじめ「ワクワク子どもの広場」、「ブックトークコンサート」など市民自らが創造していく事業を展開しました。



- ・ワクワク子どもの広場（ファミリーコンサート「白雪姫」など）
 - ・ブックトークコンサート
 - ・みんなの音楽会「平田ゆりとつくるクリスマスコンサート」
 - ・草津市民創作ミュージカル「月の涙～BIWA パール・ファンタジー～」
- 他

14-(2) 鑑賞型事業

地元のアーティストを中心に「場」の提供と質の高い音楽を市民の方に提供できるように努めました。

- ・ウィークエンドコンサート
 - ・ジャズフェスティバルアミカ
- 他

15. 文化・芸術 15 アミカホール

「文化・芸術」事業積極的に行うとともに、アミカホールのもつ舞台芸術技術やプロとのネットワークを有効活用し、アウトリーチ事業を展開し文化・芸術の魅力を市民に届けるように努めました。



- ・笠縫小学校「加藤登紀子講演・コンサート」
 - ・玉川市民センター「野路の子守唄 CD制作」
 - ・びわ湖アート・フェスティバル「アミカクワイアのメンバー出演」
 - ・パワフル交流・市民の日「アミカミュージカルチーム KAM 出演」
- 他

収益等事業

(施設維持管理及び付帯事業)

16. 公共施設管理

公共サービスの充実や公益目的事業に付随する事業として公共施設の管理等を行いました。

16-(1) 道の駅草津 企画総務課 受託 〈添付資料 P35〉

安全で快適な休憩場所の提供をし、草津の文化・歴史・名所などの紹介や地元産物の販売など、利用者にご満足いただけるように努めました。

また「道の駅草津ファンクラブ」の拡大や地元地域団体との連携を行いました。



16-(2) まちづくりセンター貸館 まちづくりセンター 指定管理 〈添付資料 P37〉

市民活動活性化に寄与するために運営している市立まちづくりセンターの一般貸館を行いました。

16-(3) ロクハ公園（プール事業） 公園事務所 指定管理 〈添付資料 P38〉

ロクハ公園内にあるロクハ公園プールの管理運営を行いました。なお、管理運営については利用者の安全確保を第一に、万全を期すため専門業者へ委託する方式としました。

開設期間 125日

施設	営業期間	営業時間
室内プール (2.5mプール、幼児プール)	5月15日～6月30日	13:30～20:30
	7月1日～8月31日	10:00～20:30
	9月1日～9月30日	13:30～20:30
屋外プール (流水プール、ウォータースライダー)	7月1日～8月31日	10:00～17:00

<プール等利用実績>

プール利用者数は、80,616人になりました。

同様に利用料金（コインロッカー使用料、駐車料含む）は、39,159,250円となりました。

<プール以外の収入実績>

指定管理者として水泳教室などの自主事業を実施しました。水泳教室では、5月19日から9月29日の午前中に小学生を中心に、13の水泳教室を実施しました。

また、自動販売機設置業務、食堂売店営業業務については、昨年と同様の専門業者にそれぞれを委託し、利用者の便宜に寄与しました。

16-(4) 児童公園等維持管理 **公園事務所** **受託** 〈添付資料 P39〉

市内児童公園等の遊具補修や高木の剪定業務などを行いました。

16-(5) なごみの郷維持管理 **なごみの郷** **指定管理** 〈添付資料 P40-41〉

温浴施設、カラオケルームの維持管理を行いました。

16-(6) ロクハ荘維持管理 **ロクハ荘** **指定管理** 〈添付資料 P42-43〉

温浴施設、カラオケルームの維持管理を行いました。

16-(7) アミカホール維持管理 **アミカホール** **指定管理**

修繕や維持管理については、専門業者に業務発注しました。

17. 収益活動

公益目的事業の実施や法人運営のための費用を捻出することを目的として、次の事業を実施しました。

17-(1) 野村月極駐車場 企画総務課 〈添付資料 P36〉

草津市土地開発公社所有の土地を有償で借用し、月極駐車場として運営しました。経費節減に取り組むとともに除草作業など利用車両の安全確保に努めています。

17-(2) 収益活動 企画総務課

ロクハ公園プールの利用者サービス対策として設置している自動販売機の収益

17-(3) 合同会社 企画総務課

事業団が出資する合同会社草津市スポーツ振興事業体の業務執行社員の一員として、草津市体育協会と連携しながらスポーツ施設の運営管理及びスポーツ振興事業の展開を図りました。

<管理施設>

草津市立総合体育館

野村運動公園

草津市立武道館

志津運動公園

弾正公園（テニスコート、多目的広場、草津グリーンスタジアム）

ふれあい体育館・運動場

三ツ池運動公園

Ⅲ. 重要な契約に関する事項

1 指定管理業務

施設名	契約名	相手方	契約金額（円）
まちづくりセンター	草津市立まちづくりセンターの管理に関する協定	草津市	37,698,922
草津アマカホール	草津市立草津アマカホールの管理に関する協定	草津市	37,648,163
なごみの郷	草津市立なごみの郷の管理に関する協定	草津市	77,458,031
長寿の郷ロクハ荘	草津市立長寿の郷ロクハ荘の管理に関する協定	草津市	67,433,179
草津市公園事務所	草津市都市公園（ロクハ公園）の管理に関する協定	草津市	58,876,765

2 受託業務

施設名	契約名	相手方	契約金額（円）
道の駅	道の駅草津駐車場等管理運営業務	草津市	14,549,000
児童公園	児童公園等維持管理業務	草津市	63,353,000

3 委託業務

施設名	契約名	相手方	契約金額（円）
草津市公園事務所	プール管理業務	(株)サンアメニティ	16,333,275

* 契約金額が1,000万円を超える業務のみ記載